

正 誤 表

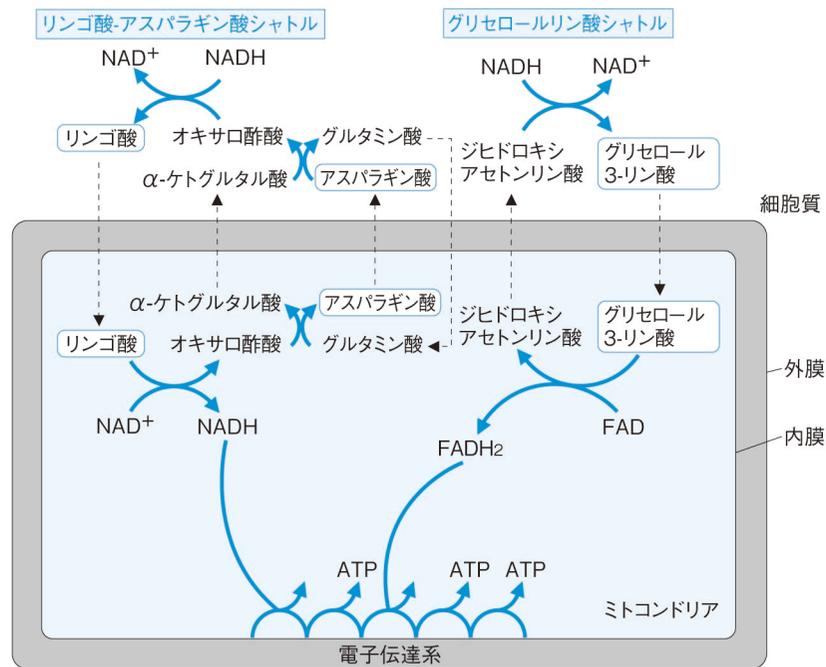
「コンパクト生化学（改訂第4版 第1刷～第3刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正																								
4	表1-1 代表的な原子イオン	Fe^{2+} （または F^{3+} ）	Fe^{2+} （または Fe^{3+} ）																								
64	表 4-1 酵素の分類	[差し替え]	<p style="text-align: center;">◆表 4-1 酵素の分類</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #e1eef6;"> <th>分 類</th> <th>反 応</th> <th>酵素の例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酸化還元酵素 (オキシドレダクターゼ)</td> <td>電子や水素の移動を伴う反応</td> <td>乳酸デヒドロゲナーゼ シトクロム c オキシゲナーゼ</td> </tr> <tr> <td>転移酵素 (トランスフェラーゼ)</td> <td>アミノ基, 糖, リン酸基を移す反応</td> <td>ヘキソキナーゼ アスパラギン酸トランスアミナーゼ</td> </tr> <tr> <td>加水分解酵素 (ヒドロラーゼ)</td> <td>エステル, 糖鎖, タンパク質などを分解する反応</td> <td>アミラーゼ ペプシン</td> </tr> <tr> <td>脱離酵素 (リアーゼ)</td> <td>水や CO_2 を脱離して二重結合をつくる反応</td> <td>アデニル酸シクラーゼ クエン酸シンターゼ</td> </tr> <tr> <td>異性化酵素 (イソメラーゼ)</td> <td>糖の異性化, リン酸基の転移をする反応</td> <td>ホスホグルコムターゼ トリオースリン酸イソメラーゼ</td> </tr> <tr> <td>合成酵素 (リガーゼ)</td> <td>ATP の分解を伴って化合物を結合させる反応</td> <td>ヒルビン酸カルボキシラーゼ</td> </tr> <tr> <td>輸送酵素 (トランスロカーゼ)</td> <td>生体膜を介してイオン, 分子を輸送する反応</td> <td>カルニチン-アシルカルニチントランスロカーゼ</td> </tr> </tbody> </table>	分 類	反 応	酵素の例	酸化還元酵素 (オキシドレダクターゼ)	電子や水素の移動を伴う反応	乳酸デヒドロゲナーゼ シトクロム c オキシゲナーゼ	転移酵素 (トランスフェラーゼ)	アミノ基, 糖, リン酸基を移す反応	ヘキソキナーゼ アスパラギン酸トランスアミナーゼ	加水分解酵素 (ヒドロラーゼ)	エステル, 糖鎖, タンパク質などを分解する反応	アミラーゼ ペプシン	脱離酵素 (リアーゼ)	水や CO_2 を脱離して二重結合をつくる反応	アデニル酸シクラーゼ クエン酸シンターゼ	異性化酵素 (イソメラーゼ)	糖の異性化, リン酸基の転移をする反応	ホスホグルコムターゼ トリオースリン酸イソメラーゼ	合成酵素 (リガーゼ)	ATP の分解を伴って化合物を結合させる反応	ヒルビン酸カルボキシラーゼ	輸送酵素 (トランスロカーゼ)	生体膜を介してイオン, 分子を輸送する反応	カルニチン-アシルカルニチントランスロカーゼ
分 類	反 応	酵素の例																									
酸化還元酵素 (オキシドレダクターゼ)	電子や水素の移動を伴う反応	乳酸デヒドロゲナーゼ シトクロム c オキシゲナーゼ																									
転移酵素 (トランスフェラーゼ)	アミノ基, 糖, リン酸基を移す反応	ヘキソキナーゼ アスパラギン酸トランスアミナーゼ																									
加水分解酵素 (ヒドロラーゼ)	エステル, 糖鎖, タンパク質などを分解する反応	アミラーゼ ペプシン																									
脱離酵素 (リアーゼ)	水や CO_2 を脱離して二重結合をつくる反応	アデニル酸シクラーゼ クエン酸シンターゼ																									
異性化酵素 (イソメラーゼ)	糖の異性化, リン酸基の転移をする反応	ホスホグルコムターゼ トリオースリン酸イソメラーゼ																									
合成酵素 (リガーゼ)	ATP の分解を伴って化合物を結合させる反応	ヒルビン酸カルボキシラーゼ																									
輸送酵素 (トランスロカーゼ)	生体膜を介してイオン, 分子を輸送する反応	カルニチン-アシルカルニチントランスロカーゼ																									

図 4-19
グリセロールリン
酸シャトルとリン
ゴ酸-アスパラギ
ン酸シャトル

[差し替え]



◆ 図 4-19 グリセロールリン酸シャトルとリンゴ酸-アスパラギン酸シャトル

2024年4月17日

株式会社南江堂